令和５年度第１回世田谷区いっせい防災訓練（シェイクアウト訓練）実施報告

１　目的

　　今年の９月１日（金）で関東大震災から１００年の節目に当たることから、大規模

震災の記憶の風化を防ぐとともに、地震発生時の身を守る行動を身につけ、区民等の

防災力強化に繋げることを目的とする。

２　開催日時

　　令和５年９月１日（金）午前９時３０分から１分間

３　訓練想定

　　上記時刻に世田谷区内で最大震度６強を観測する地震が発生

４　主催／協力

　　世田谷区／効果的な防災訓練と防災啓発提唱会議（シェイクアウト訓練提唱会議）

５　開催場所

　　各家庭、学校、職場など、「そのときあなたがいる場所」

６　参加人数

　　１４，４３８人

７　アンケートで出た主な意見（一部表現を修正しています）

　　訓練に参加していただいた方へアンケートをお送りし、訓練を行ってみて感じたことを回答していただきました。

（質問１）今回の訓練で地震発生時の身を守る行動を身につけることができたか

　　・東日本大震災発生時の事を振り返りながら行う事ができた。

　　・職員の号令により、全員が身を守る行動を取ることができた。

　　・毎月の訓練で、子どもたち自身も身を守る行動が身についている。

　　・保育園なので、園児がどこまで身に付けられたか分かりにくいところもあるが、職員が声掛けをすることで身を守る行動を行うことができた。

　　・ヘルメットをすぐに着用し対応できた。

（質問２）今回の訓練で気づいたこと

　　・家の中における安全なスペースの確保はなかなか難しい。

　　・外出時には、同じ行動が取れないと感じた。

　　・備蓄品の管理を真剣に考えるきっかけになった。９月１日は関東大震災が起きた日ということでメディアでも報道され、一瞬は防災意識が高まるが、すぐにいつもの日常に戻ってしまうので、その意識の維持が難しい。

　　・エフエム世田谷も放送したため、情報収集媒体としてラジオの有効性を改めて確認することができた。

　　・身を守る行動を行った際に、普段自分達のいる場所がリスクのとても多い場所だという事を認識した。オフィス家具、機器などの配置や固定など今後検討したい。

　　・保育園で１、２歳児に自身で身を守るポーズ（手を頭にのせ体を丸める）を行い、大人の想像以上に理解している様子であった。

　　・高齢者施設の為、しゃがんだり、テーブルの下に入る事が困難な方がいた。

　　・子どもの身を守ることを第一に考えていくのも重要だが、大人自身も自分の身は自分で守る事も大切だと感じた。訓練を通して大震災の記憶を、風化させてはいけないと感じた。

（質問３）来年度の訓練への参加について

　　・参加してみて分かったことが多く、定期的に参加してスムーズに避難できるようにしたい。

　　・今回やってみて不十分だったことなど再確認するためにも、ぜひ来年も参加したい。

　　・繰り返し訓練することで、いざという時に自然と身を守る行動ができるようにしたい。

　　・繰り返し行うことが重要だと思う。また、東日本大震災を教訓とするため３月に実施される訓練にも参加をしたい。

　　・このような誰でも手軽にできる防災訓練の機会を利用して、団体内でも参加の呼びかけをしていきたい。

　　・企業単体での防災訓練は雰囲気づくりが難しくやりづらいため、行政が主導しているものに便乗する形だと開催しやすい。今後もこのような形で実施していただくとありがたい。

（質問４）訓練全体への感想、要望など

　　・災害はいつやって来るか分からないので、このような機会を設けていただけてよかった。

・平日は勤務でリアルタイムでの参加ができないため、平日以外でも訓練を実施してほしい。

・地域の屋外放送が聞こえづらいため、情報を得るツールを色々と検討したい。

・今回の訓練により、社内の防災意識を高める良いきっかけとなった

・定期的に行い災害に対する準備の徹底をはかるため、防災訓練の必要性を痛感した。

・チラシを園内に貼って保護者の方にも周知をした。子どもが、お迎えに来た親に話をして振り返る場面も見られたことから、今後も継続していきたい。

・シェイクアウト訓練は、誰でも参加しやすく、防災を意識する上で、有効ではないかと思う。